

【別紙】令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金活用事業

(No. 1)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（K P I 等）	効果検証等
東北六市連携による伝統的夏祭りを活用した交流人口拡大プロジェクト	東北の伝統ある夏祭り（青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿燈まつり、山形花笠まつり、福島わらじまつり）を一体化し実施した東北六魂祭（2011～2016年）、東北絆まつり（2017年～）の実施により、東北絆まつりは新たな伝統文化として認知されつつあり、東北の県庁所在地六市等の連携体制も強固なものとなっている。 本事業では、その連携体制と新たな伝統文化「東北絆まつり」を活用し、東北六市が連携した観光物産プロモーションを実施することで、東北の風土や自然、食などに広がりを持たせた文化・観光の魅力を発信するとともに、スタンプラリーなどにより東北域内在住者を含めた、域内周遊を促進することで交流人口の拡大を図った。	①東北の県庁所在地六市（青森市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市）延べ宿泊者数 ▷R6 目標:300 千人増 ▷R6 実績:（集計中） ②各市の夏祭り入込数 ▷R6 目標:180 千人増 ▷R6 実績:270 千人減 ③観光物産プロモーション実施回数 ▷R6 目標:2 回増 ▷R6 実績:3 回増 ④スタンプラリー参加者数 ▷R6 目標:1,000 人増 ▷R6 実績:403 人減	・夏祭りの入込客数については、祭りの開催日が平日だった市があったこと、天候に恵まれなかったことが前年度と比して減少した要因と考えられる。観光プロモーション実施回数については、各地のイベント主催者へ東北絆まつりの魅力を丁寧に伝えたことで各イベントへの参加が可能となったことが実施回数増加の要因と考えられる。スタンプラリー参加者数については、東北絆まつり2024 仙台の開催時期に併せて実施することで参加者数増加を目指したが、減少してしまった。要因は広報不足と考えられるので観光客とのタッチポイントでの広報のほか、参加方法を広く広報することで参加者の増加を目指す。
担当課	1 情報発信 WEB や SNS を活用したプロモーションで誘導、接触を図り、認知拡大や来訪意欲を増進した。 2 周遊促進（デジタルスタンプラリー） 東北域内の周遊を促進するため、来訪者等を対象としたデジタルスタンプラリーを実施し、地域の見どころ、食等を紹介することにより複数スポットの立ち寄りと消費を促した。		
観光課			
事業計画期間	令和4年度～令和6年度		
令和4年度～令和6年度			
	3 伝統的夏祭りを活用した全国巡回プロモーション 首都圏等において、「東北絆まつり」を活用した観光物産プロモーションを行い、東北一体となった文化や四季を通した魅力を発信し、強い印象を与えることで、訪問意欲を向上させ、来訪に繋げた。（なかの東北絆まつり、御堂筋ランウエイ、歌舞伎町タワー） 4 夏祭り等旅行商品造成販売促進 各祭りにおいて、旅行行程に組み込める有料体験プログラムを設定し、商品造成販売意欲のある旅行会社に卸し販売することで、東北の夏祭りと周遊を組み合わせて商品販売を促進する。		

(No. 2)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（K P I 等）	効果検証等
盛岡 AI・IoT プラットフォーム事業	盛岡広域に集積する I T 関連企業が持つ A I ・ I o T 等の先端技術と、製造業等の A I ・ I o T 活用のニーズや課題のマッチングを図ることを狙いとし新しい価値や技術にチャレンジする実証実験を行う場「盛岡 A I ・ I o T プラットフォーム（マルチモノ盛岡）」を設置。モデルとなる企業の未来技術に関する実証実験への支援を実施するとともに、I T 企業及び製造業等の異業種企業のネットワーク化を推進し、産業の高度化・高付加価値化を図ることにより高度 I T 人材の地元定着を推進する。	①地元高等教育機関卒業生の県内就職者数 ▷R6 目標：207 人 ▷R6 実績：未公表 ②プラットフォーム参加登録企業数 ▷R6 目標：110 社 ▷R6 実績：141 社 ③参加登録企業による実証実験の実施件数 ▷R6 目標：18 件 ▷R6 実績：17 件 ④高度 IT 人材によるスタートアップ企業の起業数 ▷R6 目標：7 社 ▷R6 実績：0 社	・最終年度である令和7年度は、更なる KPI 達成に向け、セミナー、学習交流会等、実施内容を見直し事業を進めていく。また、盛岡 AI・IoT プラットフォームをマルチモノ盛岡推進協議会として自走できるよう基盤を整えていく。
担当課	1 盛岡広域の AI・IoT 等に関する取組情報の一元化 （R 6 年度実績：セミナー 2 回、学習交流会 6 回開催）		
ものづくり推進課	2 研究開発型企業の実証実験の支援 （R 6 年度実績：4 件の実証実験事業補助を実施） 3 高度 I T 人材のスタートアップ支援 （R 6 年度実績：経験不問の短期集中型プログラミング講座や製造業等を対象としたプログラミング学習機会を開催）		
事業計画期間	4 サテライトオフィス立地促進 （R 6 年度実績：約 1,350 社にアンケート調査を実施。3 社との個別面談を実施）		
令和3年度～ 令和7年度			

(No. 3)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（K P I 等）	効果検証等
盛岡スタートアップ成長加速支援事業	盛岡広域の成長事業の構想段階や発展途上にあるスタートアップを対象に、専門家と連携して集中的な経営上の支援（アクセラレータープログラム）を実施し、事業の成長加速を支援するもの。また、県内の優れたビジネスモデルの企業をロールモデルとして周知させ起業家の社会的価値を向上させるもの。 ・委託事業者	①地域における新規雇用者数 ▷R6 目標：1人 ▷R6 実績：2人	・R6年度はK P I「コミュニティ参加者による資金調達件数」は未達成となった。要因は資金調達に関するセミナーがなく、VCや金融機関との接触が少なかったことが挙げられる。令和7年度は、セミナー内容の変更や多様な主体（金融、学問等）と連携し事業を進めていく。
担当課	盛岡スタートアップコミュニティ	②コミュニティ参加者による起業件数 ▷R6 目標：0人 ▷R6 実績：1人	
ものづくり推進課	（株式会社イノベーションラボ岩手、株式会社ヘラルボニー） ・契約期間 令和6年8月27日～令和7年3月31日 ・契約金額 5,887,959円 ・事業内容 認定スタートアップ公募、認定審査会の開催、スタートアップの認定（3社）、ロールモデル企業の認定（2社）、企業成長加速支援プログラム（メンタリング、セミナー、ピッチ）を実施。	③コミュニティ参加スタートアップによる資金調達件数 ▷R6 目標：1人 ▷R6 実績：0人	
事業計画期間	令和6年度～令和8年度	④コミュニティ参加者数（セミナー参加者） ▷R6 目標：6人 ▷R6 実績：181人	
	・認定企業 川上塗装工業株式会社 株式会社 COCOHARETE 特定非営利活動法人 RINDO Blue Japan ・ロールモデル企業 株式会社ヘラルボニー 株式会社 GRCS		

(No. 4)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（K P I 等）	効果検証等
将来に向けて盛岡・玉山の「農業」と「ひと」を紡ぐ拠点・（仮称）道の駅もありおか整備事業	産地直売所や飲食店舗、農業振興や地域の魅力発信機能を備えた道の駅を整備するとともに、道の駅内に新たに多様な属性の人のオープンな対話の場として「フューチャーセンター」を設置し、オープンイノベーションを促進することで、農畜産物の付加価値の向上や関係人口の増加を図る。 ・整備工事を完了した。 ・指定管理者、テナント事業者とともに開業準備を行った。 ・市内高校生・学生と地元事業者による道の駅の特産品開発「モリのタネプロジェクト」を、「フューチャーセンター」の先行取組として実施し、約 50 名の高校生・学生が参加した。開業に向けて、特産品開発のみならず道の駅の P R 等などに活動内容を拡大し、市内様々なイベントでの商品販売や情報発信、P R 活動を行った。	①玉山地域の新規就農者数 ▷R6 目標:前年+2 人 ▷R6 実績:前年±0 人 (R6 実数 3 人)	・いずれの K P I も達成できていない。道の駅の開業が、計画時の R 6 春から R 7 年 4 月に後ろ倒しになったことにより、事業実施の効果が表れていないものの。 ・道の駅が開業したことから、7 年度は K P I を達成できるものと見込まれる。
担当課		②玉山地域の産直の利用者数 ▷R6 目標:前年+5,000 人 ▷R6 実績:前年△24,900 人 (R6 実数 285,000 人)	
産業振興課 (旧 道の駅整備推進室)		③フューチャーセンターで取り組むプロジェクト数 ▷R6 目標:前年+5 件 ▷R6 実績:前年+3 件 (R6 実数 9 件)	
事業計画期間		④フューチャーセンターのプロジェクトに参加する高校生・大学生の人数 ▷R6 目標:前年+20 人 ▷R6 実績:前年△5 人 (R6 実数 50 人)	
令和4年度～令和8年度			

(No. 5)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ TYPE1）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（K P I 等）	効果検証等
行政手続きオンライン化・デジタル化事業	市民や法人のオンライン申請の利便性を高めるため、「岩手県電子申請システム」を導入し手続きの対象を拡充することで、手続きのオンライン化やデジタル化を進め、市民や法人等の行政手続き申請に係る利便性の向上を図る。 ・岩手県電子申請システムを県内他自治体と共同利用により導入した。 ・定期的に開催するデジタル推進事務局会議において、本事業の進捗確認及び推進に向けた情報共有を実施した。 ・全庁の手続きのオンライン化の進捗状況の確認のほか、各手続担当課へのヒアリングを実施した。 ・システムの利用方法を周知するための説明会を実施した。 ・作成した手続きの周知を図るため、令和6年5月の広報もりおかに掲載した。	①オンライン申請手続き数 ▷R6 目標：300 件 ▷R6 実績：164 件	・岩手県電子申請システムの操作方法や手続きを受付開始するための手順の庁内周知が不足していたため、オンライン申請可能な手続き数を指標値まで増加させることができなかった。 ・令和7年度以降、岩手県と連携して、担当課向けの研修会や、情報企画課によるハンズオン形式での手続き作成支援を充実させることにより、担当課において簡単に手続きを作成することができる環境の整備に取り組む。
担当課		②オンライン申請手続きの受付数 ▷R6 目標：140,000 件 ▷R6 実績：5,169 件	
情報企画課		③利用者満足度 ▷R6 目標：60% ▷R6 実績：75%	
事業計画期間			
令和6年度			

(No. 6)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ TYPE1）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（K P I 等）	効果検証等
デジタル技術を活用した学校教育の情報化	児童生徒の学力や日常的な行動、心身の健康状態などの多様な情報を、学校や市町村、又は県単位で一元管理・共有・発信・受信することができる全県統一の「統合型校務支援システム」を岩手県と市町村が連携して導入することにより、データ分析等による多様な児童生徒個々に応じた指導など、新学習指導要領が目指す「個別最適な学び」を実現するための指導改善等に役立て、岩手県の教育の質的な向上を図るもの。	①全県統一の統合型校務支援システムの利用ログによる、毎日利用した教職員の人数の割合 ▷R6 目標：70% ▷R6 実績：—	・令和6年度途中からのシステム導入・運用開始となったもの。当該年度は本格運用ではなく、システムへの習熟期間としていたため、一部 KPI は未計測となった。 ・当該 KPT については、令和7年度からの計測とする。
担当課		②指導要録の電子原本化を行った学校数 ▷R6 目標：60% ▷R6 実績：—	
学校教育課 （旧 学校情報室）		③保護者連絡のデジタル化率 ▷R6 目標：75% ▷R6 実績：—	
事業計画期間		④意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合 ▷R6 目標：小学生 83% 中学生 83% ▷R6 実績：小学生 84% 中学生 79% ⑤授業等で I C T 機器を活用し、児童生徒に I C T 活用について指導できる教員の割合 ▷R6 目標：83% ▷R6 実績：78%	
令和6年度			

(No. 7)

交付金名称	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生整備推進交付金）		
事業の名称	令和6年度実施内容	実績（KPI等）	効果検証等
盛岡の農業・物流を支える交通ネットワーク構築計画	本事業では、市道新設事業と広域農道の保全対策を一体的に行い、農畜産物の生産拠点から盛岡貨物ターミナル駅及び盛岡市中央卸売市場などの物流拠点、盛岡南インターチェンジ及び幹線道路（国道・県道・高規格道路）までの交通ネットワークを構築し、北東北をはじめとする国内各地、海外への販路拡大を図り、農畜産物の持続的な発展と活力ある農村の実現を目指す。	①広域農道の老朽化対策進捗率 ▷R6 目標：0% ▷R6 実績：0%	・令和6年度は、関連事業である盛岡南地区物流拠点整備事業を推進することができず、交付金の交付申請が令和6年11月と遅延してしまい、交付金事業を実施することができなかった。 ・今後は、最終年度のKPIへの影響を検証し、計画期間の延長の必要性を検討する。
担当課		②農業産出額（果実）の増加 ▷R6 目標：259百万円 ▷R6 実績：（R8年3月に確定）	
新産業拠点形成推進事務局		③集荷拠点とのアクセス改善（選果場～貨物ターミナル駅） ▷R6 目標：8分 ▷R6 実績：8分	
事業計画期間		④渋滞解消（きたぎんボールパーク近隣の通行台数の減少） ▷R6 目標：606台 ▷R6 実績：606台 ⑤盛岡南地区物流拠点整備事業の進捗率 ▷R6 目標：25% ▷R6 実績：0%	
令和6年度～令和10年度			